

公表:令和 2年 11月

事業所名 わくわくWing

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			・コロナ対策として密にな らないよう工夫をしたり、 換気を行っている	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・国の定める配置基準以 上の職員を日々配置し ている	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっているか。また、障がいの特性に応 じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされているか	○			・来所から支度までの導 線が工夫されている ・個人に合わせ、カード 等による視覚情報の活 用	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子ども達の活動に合わせ た空間となっているか	○			・スチーム消毒やアル コール消毒を行い清潔 を心がけている ・教材や玩具は手の届く ところに置き自由に手に 取ることができるように している	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・ケース会議の開催。全 職員に参加を呼び掛け ている ・日常的に振り返りを行 い次へと繋げている	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・評価表だけでなく、保 護者との関係を密にして 日頃から改善に努めて いる	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行う とともに、その結果による支援の質の評価及び 改善の内容を、事業所の会報やホームページ 等で公開しているか	○			・HPに掲載している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか			○		・保護者からのご意見や職員間の 話し合いにより業務改善は行ってい るが、今後第三者委員会の設置に 向けて努力していく
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	○			・積極的に参加している	
適切な支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童 発達支援計画(サポートプラン)を作成している か	○			・利用開始時のアセスメ ントを行う等してニーズ の把握に努めている	・年1回程度訪問等行い保護者の ニーズを確認したい
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・札幌市「サポートプラ ン」を基にした支援計画 を作成している	
	⑫ 児童発達支援計画(サポートプラン)には、児童 発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供 すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行 支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切に 選択され、その上で、具体的な支援内容が設定 されているか	○			・ガイドラインを参考にし ている	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われてい るか	○			・ケース会議等で共有し ている	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間でアイデアを出し合いながら活動プログラムを立案している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子どもたちの成長に合わせたプログラムを提供している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・ケース会議等で意見を出し合い行っている	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼時に確認している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・支援終了後、記録簿の作成時間を利用し職員間で振り返りを行い、情報を共有している	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援終了後、記録簿の作成時間を利用し職員間で振り返りを行い、情報を共有している	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・ケース会議等で意見を出し合い行っている	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・会議への参画前に職員間で話し合いを行っている	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・保健師、家児相等必要に応じて関係機関と連携して支援を行っている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					・現在対象児童がいない
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					・現在対象児童がいない
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・保護者の希望により行っている	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・保護者の希望により行っている	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・連携をして、助言・研修を受けている	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		・今後必要があれば検討したい
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			・積極的に参加している	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎の際には全職員が保護者と話し合う機会を持ち課題についての共通理解を深めている	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			・日常的に保護者より困りごと等の聞き取りを行い、その家族に合った支援を継続的に行っている	

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用開始時に行っている	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」(サポートプラン)を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・サポートプラン作成時に行っている	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・適宜行っている	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・希望しない保護者もいるので当事業所においては開催していない	・今後必要があれば検討したい
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・申入れあった場合には迅速かつ柔軟に対応している	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・会報は年4回発行 ・連絡帳で情報を発信し送迎の際には直接口頭でお伝えしている	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・書類は扉のある書庫に保管し事務所は施錠している	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者や子どもの特性に合わせて配慮し、意思疎通を図っている	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・感染症対応マニュアルについては保護者に配布し、緊急避難場所については連絡帳に貼付し周知している ・その他マニュアルは事業所にて閲覧可能である	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・火事、地震、不審者等様々な場面を想定して訓練、絵本の読み聞かせ等対策を行っている	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・契約時に確認している。てんかんのある児童については日々の様子を伺いながら確認している	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			・家族からしっかりと聞き取りをし、対応している	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・常に全員が記入、閲覧できるようにしている	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修会に積極的に参加し、園内研修も行い適切に対応できるようにしている	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画(サポートプラン)に記載しているか	○			・事前に保護者に確認し了解を得た上で実施している	・サポートプランへの記載はしていなかったため今後は記載をする

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等
デイサービス

事業所における自己評価結果（公表）

参考様式3

公表：令和 2年 11月

事業所名 わくわくWing

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			・コロナ対策として密にならないよう工夫をしたり、 換気を行っている	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・国の定める配置基準以上 の職員を日々配置している	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○			・建物の構造上完全な バリアフリー化は難しいが身体に障がいのある 子どもたちが十分に活動 できるよう配慮している	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標 設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・ケース会議の開催。全 職員に参加を呼び掛け ている ・日常的に振り返りを行 い次へと繋げている	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・評価表だけでなく、保 護者との関係を密にして 日頃から改善に努めている	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○			・HPに掲載している	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか			○		・保護者からのご意見や職員間の 話し合いにより業務改善は行っ ているが、今後第三者委員会 の設置に向けて努力していく
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	○			・積極的に参加している	
適切な支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画（サポートプラン）を作成 しているか	○			・利用開始時のアセスメ ントを行う等してニーズ の把握に努めている	・年1回程度訪問等行い保護者の ニーズを確認したい
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・札幌市「サポートプラン」 を基にした支援計画を 作成している	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間でアイデアを 出し合いながら活動プロ グラムを立案している	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			・子どもたちの成長に合 わせたプログラムを提供 している	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			・個々の発達に合わせた 支援を行っている	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画 を作成しているか	○			・ケース会議等で意見を 出し合い行っている	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担について 確認しているか	○			・朝礼時に確認している	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、そ の日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか	○			・支援終了後、記録簿の 作成時間を利用し職員 間で振り返りを行い、情 報を共有している	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援終了後、記録簿の作成時間を利用し職員間で振り返りを行い、情報を共有している	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画（サポートプラン）の見直しの必要性を判断しているか	○			・ケース会議等で意見を出し合い行っている	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			・ガイドラインを参考に支援を行っている	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・会議への参画前に職員間で話し合いを行っている	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・子どもの課題に合わせて情報共有し支援を行っている	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					・現在対象児童がいない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか					・現在対象児童がいない
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					・現在対象児童がいない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・連携をして、助言・研修を受けている	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			・今後必要があれば検討したい
保護者への説明責任等	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・積極的に参加している	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎の際には全職員が保護者と話し合う機会を持ち課題についての共通理解を深めている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・日常的に保護者より困りごと等の聞き取りを行い、その家族に合った支援を継続的に行っている	
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・利用開始時に行っている	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・適宜行っている	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・希望しない保護者もいるので当事業所においては開催していない	・今後必要があれば検討したい
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・契約時に苦情申し立てについて十分な説明を行っている。苦情があった場合は全職員に周知して迅速かつ適切に対応している	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・会報は年4回発行 ・連絡帳で情報を発信し送迎の際には直接口頭でお伝えしている	

非常時等の対応	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・書類は扉のある書庫に保管し事務所は施錠している	
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者や子どもの特性に合わせて配慮し、意思疎通を図っている	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域住民を招待してはいないが、町内会の行事に参加している	
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・感染症対応マニュアルについては保護者に配布し、緊急避難場所については連絡帳に貼付し周知している ・その他マニュアルは事業所にて閲覧可能である	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・火事、地震、不審者等様々な場面を想定して訓練、絵本の読み聞かせ等対策を行っている	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修会に積極的に参加し、園内研修も行い適切に対応できるようにしている	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画(サポートプラン)に記載しているか	○			・事前に保護者に確認し了解を得た上で実施している	・サポートプランへの記載はしていなかったため今後は記載をする
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・家族からしっかりと聞き取りをし、対応している	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・常に全員が記入、閲覧できるようにしている	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。